

星空解説の構築をめざして プラネタリウムにおける 古典文献に基づく

名古屋大学デジタル人文社会科学研究推進センター

申し込み
先着順
35名程

日時

2
2025

13:30~17:00
【開場 13:00】

21 金

開催場所

東海国立大学機構

TOIC 1 階 (名古屋大学構内)

<https://toic-n.aip.thers.ac.jp>

PROGRAM

プログラム

司会 / 佐野 栄俊 (岐阜大学 准教授)

ディスカッサント / 徳野 鷹人 (東京大学大学院理学研究科 博士課程2年)

- 13:30
趣旨説明・「古典文献に基づく革新的な星空解説の構築」
川本 悠紀子 (名古屋大学 准教授)
- 13:50-14:20
野尻抱影と古典文献 — 蔵書整理からわかったこと
小島 敦 (名古屋大学大学院人文学研究科 博士後期課程1年)
- 14:30-15:30
古代ローマの天文詩 — マーニリーウス「アストロノミカ」の多面性
竹下 哲文 (京都大学大学院文学研究科 助教)
- 15:40-16:40
なぜプラネタリウムで星座神話が語られるのか?
井上 毅 (明石市立天文科学館 館長)
- 16:45
閉会のことば
岩田 直也 (名古屋大学 准教授)

<https://doi.org/10.3931/e-rara-2173>



明石市立天文科学館

オーガナイズ 川本悠紀子、岩田直也、佐野栄俊、小島敦

主催 名古屋大学デジタル人文社会科学研究推進センター

本ワークショップは、未来社会創造プロジェクト (若手アカデミア組成) の支援を受けています。

